

アクサ生命の変額個人年金保険


# 5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)付変額個人年金保険(06)  
保証金額付特別勘定年金特約(定期II型)付変額個人年金保険(06)

## 特別勘定（世界分散型30DI） 四半期運用レポート

### 2013年10月～2013年12月

設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**

**【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社**

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)/(定期II型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
- ・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)/(定期II型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要、注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
**特別勘定の四半期運用レポート**（2013年10月～2013年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

**運用環境** [ 2013年10月～2013年12月 ]

**【日本株式市場】**

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前期末比+9.06%上昇の1,302.29ポイントで終了しました。

10月は、米国の財政問題への懸念などから下落しましたが、その後、米国の与野党が財政問題への対応で合意に達したことなどから上昇基調で推移しました。11月は、2013年7-9月期のGDP(国内総生産)速報値が予想を上回ったことなどを背景に上昇しました。12月は、米国株式市場の下落などを受けて下落基調で推移した後、米国の量的緩和縮小開始の決定などを背景に上昇しました。

業種別(東証33業種)では、消費増税前の住宅設備関連への駆け込み需要による業績上振れ期待から、「金属製品」(前期末比+21.23%)が最も上昇した一方、為替の円安進展から、「空運業」(同-7.95%)が最も下落しました。

**【外国株式市場】**

米国株式市場は、10月、財政問題への懸念などから下落しましたが、その後、与野党が財政問題への対応で合意に達したことなどから上昇しました。11月は、市場予想を上回る経済指標や、緩和的な金融政策が長期化するとの見方などから上昇基調で推移しました。12月は、量的緩和縮小観測の高まりなどから下落した後、FOMC(米連邦公開市場委員会)で、インフレの動向次第で現行の超低金利政策を相当な期間継続するのが適切との見解が示されたことなどから上昇し、NYダウは、前期末比+9.56%上昇の16,576.66ドルで終了しました。

欧州株式市場は、10月、米国の財政問題への懸念などから下落しましたが、その後、米国の与野党が財政問題への対応で合意に達したことなどから上昇しました。11月は、英国・フランス株式市場が下落する一方、連立政権樹立の合意などにより、ドイツ株式市場は上昇しました。12月は、米国の量的緩和縮小観測の高まりなどから下落した後、FOMCで低金利政策を継続する方針が示されたことなどにより上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+4.44%上昇、仏CAC40は同+3.68%上昇、独DAXは同+11.14%上昇となりました。

**【日本債券市場】**

日本債券市場は、10月、米国の量的緩和政策の長期化観測などを背景に、金利は低下(価格は上昇)しました。11月は、国債需給の逼迫感が強いものの、米国の金利上昇などを背景に、金利は上昇(価格は下落)しました。12月は、月内の大量償還から国債需給の逼迫が改めて意識されたことなどにより、低下する局面もありましたが、国内株式市場の上昇などを受けて上昇し、新発10年国債利回りは0.735%となりました(前期末は0.680%)。

日銀はマネタリーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

**【外国債券市場】**

米国債券市場は、10月、米国債の債務不履行懸念が台頭したことなどから金利は上昇(価格は下落)しましたが、その後、与野党が財政問題の対応で合意に達したことなどから低下(価格は上昇)基調で推移しました。11月は、10月のFOMC議事要旨から量的緩和縮小が早まるとの見方が強まったことなどから、上昇基調で推移しました。12月は、量的緩和の縮小開始が決定されたことなどから上昇し、米10年国債利回りは3.028%となりました(前期末は2.610%)。

欧州債券市場は、10月、米国の財政問題への懸念が緩和されるにつれてリスク選好が高まったことなどから、金利は上昇(価格は下落)しましたが、その後、米国の量的緩和政策の長期化観測などから低下(価格は上昇)しました。11月は、堅調な米雇用統計などを受けて上昇する一方、ECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和と観測の高まりなどから低下し、探み合いで推移しました。12月は、米国の量的緩和縮小開始決定などから上昇し、独10年国債利回りは1.929%となりました(前期末は1.779%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.25%引き下げ、年0.25%としました。

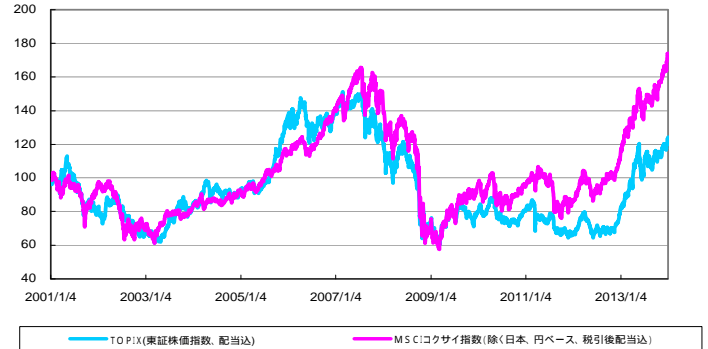
**【外国為替市場】**

米ドル/円相場は、10月、米国の財政問題への懸念などから円高となる一方、FOMC後の声明で、景気が緩やかな拡大が続いているとの認識が示されたことなどにより円安となるなど、探み合いで推移しました。11月は、堅調な米雇用統計や米国の量的緩和縮小観測などを背景に、円安が進行しました。12月は、米国の財政協議の進展や米国で量的緩和の縮小開始が決定されたことなどを受けて円安基調で推移し、円は対ドルで前期末比7円64銭(7.82%)円安ドル高の1ドル=105円39銭となりました。

ユーロ/円相場は、10月、米国の財政問題などを巡って円高となった後、米国の財政問題対応が合意に達したことや米国の量的緩和政策長期化の見方などからユーロが上昇し、円安となりました。11月は、ECBが政策金利を引き下げたことなどから一時的に円高となった後、ドイツ株式市場が上昇するにつれてユーロも上昇し、円安の動きとなりました。12月は、欧州の銀行の対外資産圧縮を目的としたユーロ買い観測などからユーロがさらに上昇し、円は対ユーロで前期末比13円18銭(9.99%)円安ユーロ高の1ユーロ=145円05銭となりました。

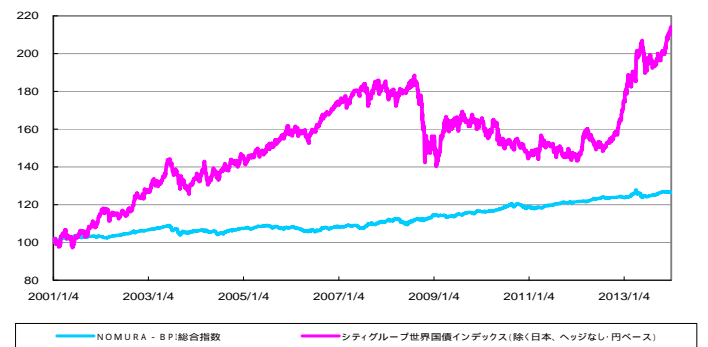
**日本と外国の株式市場の推移**

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

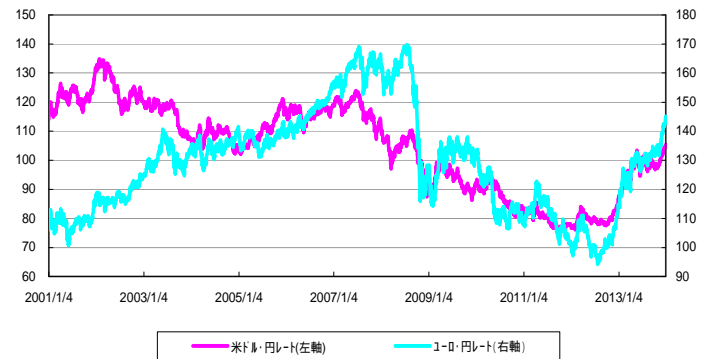


**日本と外国の債券市場の推移**

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



**外国為替市場の推移**



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

**【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）**  
株式会社みずほ銀行

**【引受保険会社】**  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL：0120 375 193  
アクサ生命AXA http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
**特別勘定の四半期運用レポート（2013年10月～2013年12月）**

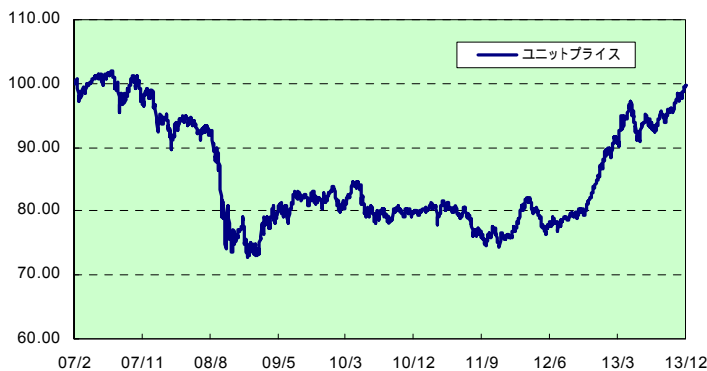
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

**特別勘定の運用状況 [2013年12月末日現在]**

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

**特別勘定のユニットプライスの推移**

特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2013年12月末	99.68	過去1ヵ月	1.39
2013年11月末	98.32	過去3ヵ月	5.42
2013年10月末	96.16	過去6ヵ月	7.86
2013年9月末	94.56	過去1年	17.46
2013年8月末	92.66	過去3年	25.68
2013年7月末	93.34	設定来	▲0.32

・世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。  
 ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

**特別勘定資産の内訳**

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	14,468,732	99.1
現預金・その他	130,983	0.9
合計	14,599,715	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。  
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
 TEL: 0120 375 193  
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

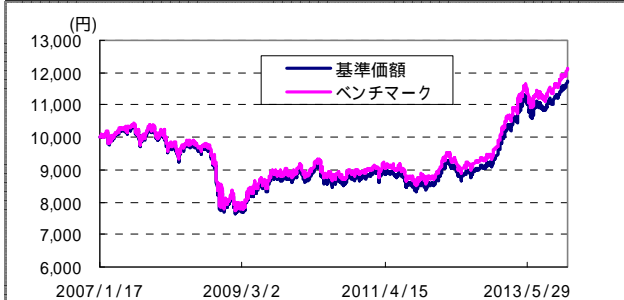
# 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年10月～2013年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA（適格機関投資家限定）の運用状況 [2013年12月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

### 基準価額の推移（税引前分配金再投資）



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。  
基準価額およびベンチマークは設定日（2007年1月18日）の前日を10,000として表示しております。  
基準価額は信託報酬（年率0.315%（税抜0.3%））控除後です。

### 分配金情報（税引前）

		分配金は1万円当たり	
第5期（2011.06.22）	分配金	0	円
第6期（2012.06.22）	分配金	0	円
第7期（2013.06.24）	分配金	0	円
設定来累計分配金		0	円

直近3年分  
分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

### 騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	1.60%	6.09%	9.21%	20.34%	34.91%	44.63%	17.63%
ベンチマーク	1.69%	6.21%	9.51%	20.89%	36.79%	47.34%	21.47%
差	-0.09%	-0.12%	-0.30%	-0.55%	-1.88%	-2.71%	-3.84%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

### ファンドの特色

<b>主な投資対象</b> ……	主として国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
<b>投資方針</b> ……	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
<b>ベンチマーク</b> ……	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

### 各資産のベンチマーク

【国内株式】	東証株価指数（TOPIX、配当込み）
【国内債券】	NOMURA - BPI総合
【外国株式】	MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み）
【外国債券（為替ヘッジなし）】	シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
【外国債券（為替ヘッジあり）】	シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、市場環境、組入資産の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとす基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）  
株式会社みずほ銀行

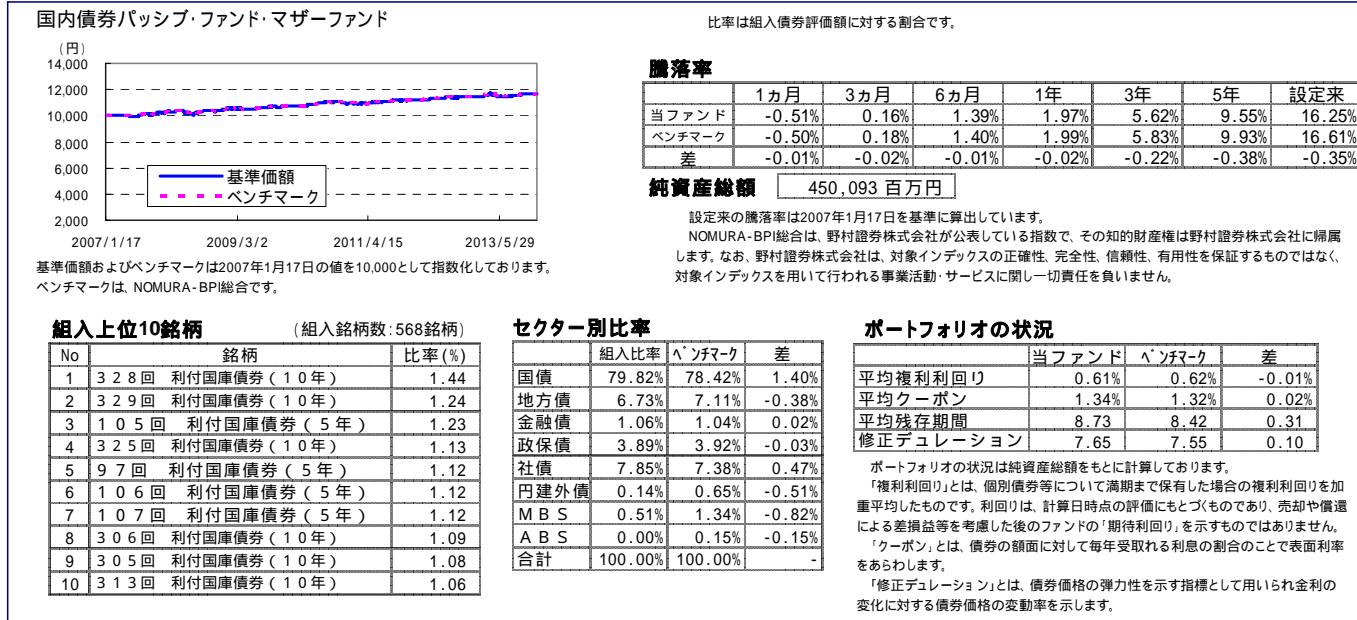
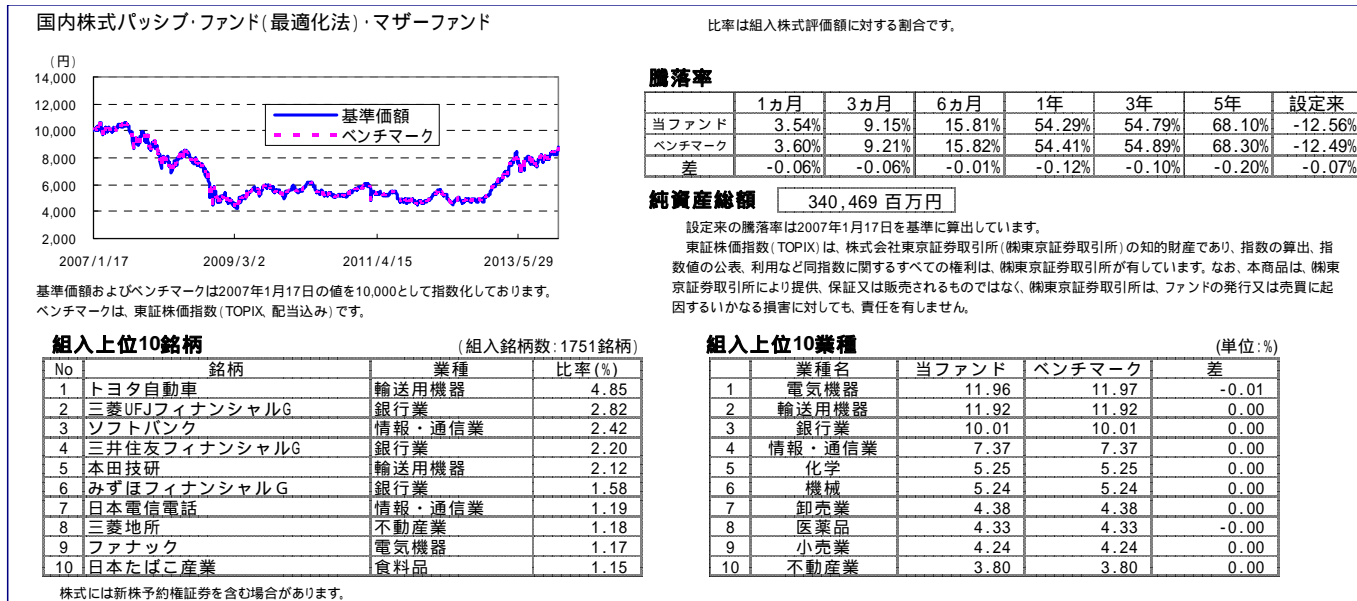
【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL：0120 375 193  
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

# 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年10月～2013年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 各マザーファンドの運用状況 [2013年12末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の価値のある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前配分金を再投資したものと、基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【募集代理店】 取扱者 (生命保険募集人)  
株式会社みずほ銀行

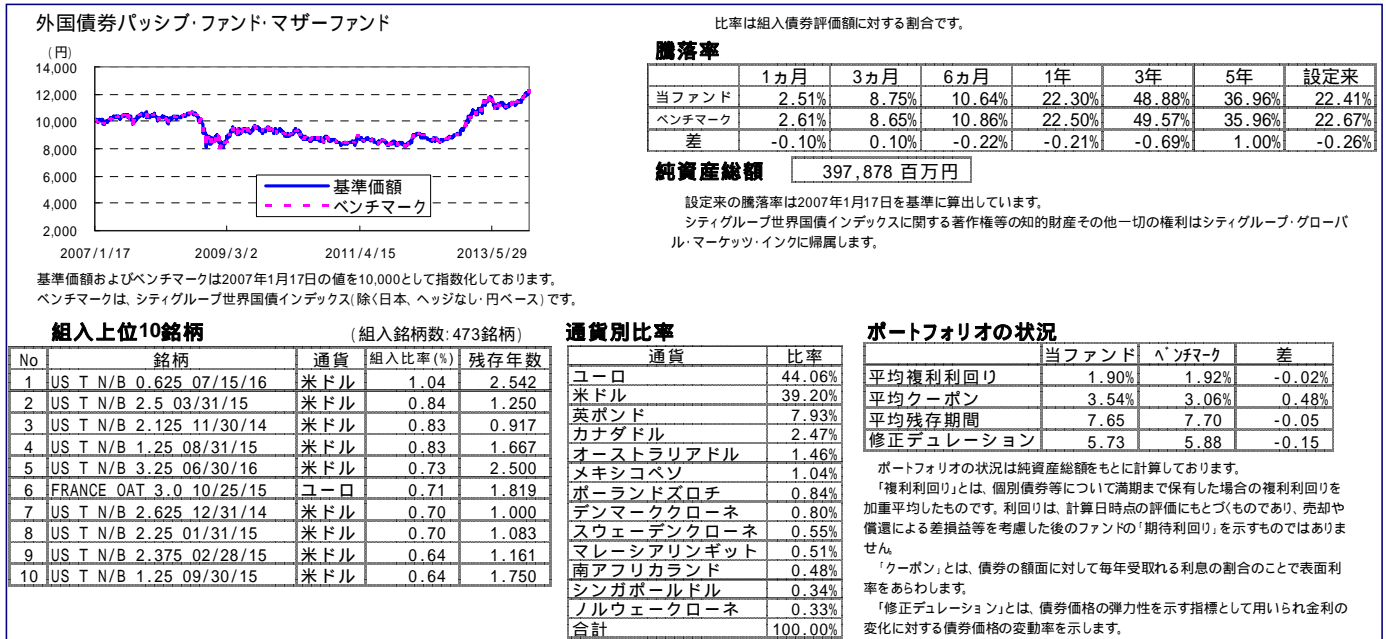
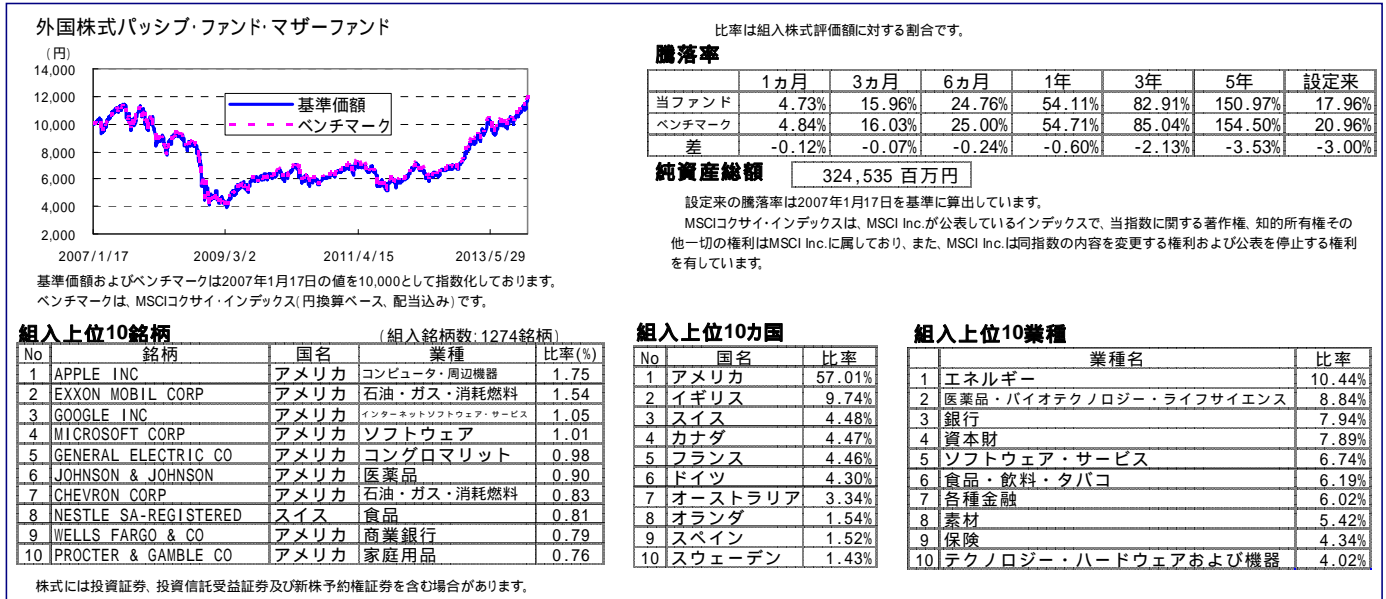
【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL: 0120 375 193  
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

# 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2013年10月～2013年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 各マザーファンドの運用状況 [2013年12末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行元にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前配分金を再投資したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入している場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL: 0120 375 193  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
**リスク及び諸費用について**

**【投資リスクについて】**

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

**【諸費用について】**

！ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。  
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

**特別勘定繰入前に控除される費用**

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用 ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して <b>5%</b> (例)一時払保険料1,000万円の場合、 <b>50万円</b>	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

**据置期間中に控除される費用**

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.3%</b> (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約631円</b>	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.315%程度</b> (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約87円</b>	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

**年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)**

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.3%</b> (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約631円</b>	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.315%程度</b> (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約87円</b>	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

**年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)**

「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費*2 年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して <b>1.0%</b> (例)年金額が100万円の場合、 <b>1万円</b>	年金受取日に、責任準備金から控除します。

\*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

\*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

**【その他の留意事項について】**

**受取総額保証金額(定期型)**

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL: 0120 375 193  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/